

# インバータ発電機の直流/交流電力・高調波測定

パワーアナライザ  
WT500

## WT500アプリケーションの概要

発電機は、工事現場での夜間照明用、非常用、電動工具用、コンプレッサやポンプ駆動用など、さまざまな場所で使われています。発電機は、作業現場などで系統電源から電源が取れない場合に、直流を発生させたり、50Hz/60Hzの交流信号を切り替えて発生させたりして電源供給できます。また、最近ではインバータを使った発電機も開発されており、高効率化を実現してる半面、信号に高調波成分が重畳してしまうケースがあります。

WT500はこれらの発電機の電力テスタ(電力評価用測定器)として、直流および交流の電圧、電流、定格電力、周波数などを高精度に測定できます。

## アプリケーションのポイント

1. 単相/三相用発電機の電力測定が可能
2. インバータタイプの発電機で生じる高調波成分測定
3. 電圧、電流、電力の安定状況を監視できるトレンド表示
4. 充実した積算機能による高精度電力量測定
5. クランプ電力計としても使用可能

## WT500の特長

1. 単相電力(1入力),三相電力(3入力搭載)の測定が可能
2. 電圧、電流、電力データとともに、高調波成分、高調波ひずみ率(THD)も同時に測定・保存できます。
3. 最速10回/秒のデータ収集間隔でトレンド表示。  
電圧、電流、電力の変動状況を視覚的に確認できます。
4. 有効電力量(Wh)や無効電力量(var)、皮相電力量(VA)をデータ表示・保存できます。
5. クランププローブ(751550など)を使って、活線したまま電流、電力評価ができます。

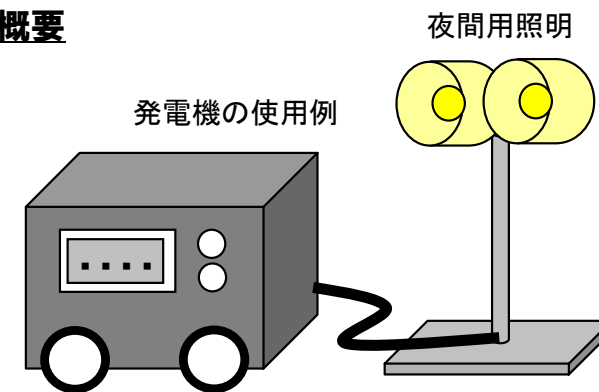
## 発電機の消費電力測定の概要

### パワーアナライザ WT500



発電機開発時や製造時の製品評価ができます。

### 発電機の使用例



WT500は電圧、電流、電力、力率、高調波、高調波ひずみ率(THD)など、発電機の製品評価に必要な測定項目を測定できます。

## WT500表示画面・設定画面

### 【数値画面の測定結果例】



### 【トレンド表示による安定度の確認】



### 【ベクトル表示での三相バランス確認例】



### 【インバータ機器の高調波測定例】

